

月刊 仙台三高演劇部

2月の主な活動（活動場所：1階多目的室〔1年4組と5組の間〕）

月	日（曜日）	演劇部の活動
2	1日（木）～	春の合同公演へ向けての準備

- ◆5月に例年行っている泉館山高との合同公演について、なかなか脚本が完成しない状況が続いていますが、なんとか一定の形が出来ました。上演日まで両校演劇部で切磋琢磨しながら、よりよい芝居を目指して頑張ります。なお、現時点で決定しているものは以下の通りです。

仙台三高・泉館山高 演劇部合同公演

演目『竜を追う』

場所：エルパーク仙台 スタジオホール（三越定禅寺通り館6F）

日時：5月4日（金）①14:30～ ②18:30～

- ◆1月31日に高校入試(前期)が行われました。現在受験している中3生にとっては、まずは合格を勝ち取ることが最優先ですが、合格したあとはどのような高校生活を送るかがポイントになります。その時、充実した高校生活をして行く上で、ぜひ演劇部に入ることをお勧めします。演劇部のある中学校はほとんどないため、演劇をすることへの不安？みたいなものを何となく感じる人もいます。確かに、演劇で舞台上に立つって、何かちょっと恥ずかしいかな…と思うかもしれませんが、でも、演劇部には以下のような4つのつく(4つく)のメリット(特典)もあります。難しく考える必要はありません。楽しみながら頑張っていける、それが演劇部です。では、以下の(4つく)をご覧ください。そしてぜひ、将来を見据えて演劇部に入ってみませんか？

①度胸がつく ②表現力がつく ③暗記力がつく ④国語の読解力がつく

①は誰でも予想がついたかもしれませんが、やはり人前でセリフを言うのは勇気がいります。でも何度も経験すると誰でも慣れてきますし、そうすれば大学入試の面接試験にとって有効な経験ということになります。面接で自分が言いたかったことの半分も言えずに終わるなんてことは珍しくありませんが、演劇部の経験があれば大丈夫です。

②はプレゼンテーション能力を高めることにつながります。これからの社会はこの能力が問われますが、演劇部の経験によってこれをつけ、さらに大学入試の面接にも応用できます。

③はセリフ暗記の経験が生きていうことになります。暗記だけが勉強というワケではありませんが、ベーシックな部分はどうしても暗記していないと勉強が進まないという経験は誰でもあるはず。セリフ暗記の経験によって暗記力をつけ、勉強に生かすことができます。

④はちょっと想像できない人もいたかもしれませんが、国語の現代文読解には演劇部の経験が効果的です。それは、演劇部では脚本の読み込みを行い、登場人物の研究をすることで、作者が言いたいことは何かをきちんと考えるからです。この経験によって、これまであまり本を読んだことがなかった人も、国語の成績アップが期待できます。